

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726

yoshidaben@gmail.com



補正予算に反対した理由 (小学校の問題)

今期の一般会計補正予算には反対しました。もちろん、それは議会内少数派です。また、所属する「無所属」会派でも、ただ一人反対したものです。

その反対理由を述べると、町田市が推進する学校統合の考えが支持できないためです。町田市は現行の小学校校舎の建替えに際し、それらを大幅に統廃合し、小学校を3クラス編成とすることで学校運営の効率性を発揮したいと考えています。町田市は長期的には人口減少するという見通しを立てる一方で、国は児童の1クラス定数を40名から35名、さらには30名に変更することが見込まれ、町田市が見込む児童数の数値と大きな幅が生じる可能性があり、将来的には教室数が足りない、あるいは教育内容の多様化に対応できない教室形態になる見込みが出てくるのでは無いかと思っています。

町田市の公立小学校は、市内や近隣に著名な私立小学校が存在しており、それらの小学校の体制、教育内容を意識することを避けられず、町田市の考え方で公立小学校の在り方を決めてしまうのはリスクが高すぎ、今後はお互いの住み分けを前提に将来構想を検討すべきだと考えています。



小学校の学芸会。画像を落としています。

住民請願に対する対応、賛否

今期の請願は、以下の3件でした。

◎ 請願第1号 リニア・トンネル工事について市民の安全・安心を求める請願



◎ 請願第8号 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業について(仮称)国際工芸美術館整備及び国際版画美術館との一体的整備について協議する場を求める

◎ 請願請願第7号 南つくし野小学校の存続を求める請願

まず、請願7号には賛成しましたが、少数で不採択となりました。賛否の理由は、左記の補正予算に記した内容です。

請願第8号は、この間、石坂市長が強行に進める工芸美術館の建設にかかわるもので、幅広い住民との対話の上で計画を進めてもらいたいとするものですが、補正予算の付帯意見(住民協議を求める)は多数で可決しましたが、この請願は僅差で不採択(否決)となりました。*吉田つとむは請願も付帯意見も賛成。

請願第1号は、前回から継続になっていたものです。ルート内の静岡県は、JR東海と対立してきましたが、最近、協議の兆しが見えてきました。請願を不採択(否決)とし、町田市内を含めた、工事の進行に理解を示しました。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！(新スローガンを提起しました)

◎支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

◎吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

水耕栽培メロン作りに取り組むつがる市

青森県つがる市を訪れ、水耕栽培メロンの実証試験の個人視察を実施しました。第2定例会で一般質問を行った、町田市の企業が開発した水耕栽培メロンシステムが、つがる市で採用され、実験栽培中だと知り、その見学を申し出たものです。(内容は続報予定)



その青森県つがる市は、メロン栽培が全国第3位の生産高ということであり、以前のスイカ栽培から転作した農家が目立っていました。そこで、上記の「温室水耕栽培メロン施設」以外にも、実際の農家と相培地を案内されました。ハウスと露地のメロン栽培に取り組み、露地栽培ものは7月下旬～8月上旬が出荷時期だと聞きました。寒冷地である「つがる市」は、この水耕栽培メロンに取り組むことで、通年栽培と出荷を見込むものです。

担当課(ブランド戦略課)の梶浦様に案内されて、水耕栽培メロン実証実験施設を訪れると、副市長の今正行氏がその場に到着され、挨拶をかわしました。その取り組みの意義と展望を語っていただき、吉田つとむのYouTube動画にアップしました。

インターン体験記⑩上野竜空

初めて吉田議員のインターンシップに参加した日から、一般研修体験以外に、各回毎に「政治家と選挙」について講義を受け、今回が9回目となりました。

全10回に分けられた本講義ですが、政治の歴史、現代に至るまでの政治および選挙システム、そして8回当選の経過やその秘訣まで、多くを学ばせて頂いています。因みに今回は、参議院選挙や来年春に控える統一地方選挙(町田市の場合は2022年に終了済)の仕組みやそれに際した党の動きについて、ご自身の経験を踏まえた解説を聞きました。

議員は、都度、新規レジュメを作成し、インターン終了後は駅前に立つ、そして次回に向けてレジュメの資料を収集する。そうしたルーティンワークをされていると聞き、その手間と時間に驚きでした。そんなインターン期間も残りわずかの予定です。今回の講義の設定に感謝を忘れず、1回1回を大切にしたいと思います。



中央大学4年生 上野竜空(第50期研修生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年4月末より50期生が研修を開始しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの第50期生となりますが、現在、1名参加中、他にも受付中です。